

令和5年10月31日

多治見市長 高木 貴行 様

多治見市総合計画審議会
会長 菊地 裕幸

第8次多治見市総合計画の策定について（答申）

令和5年10月6日付け多企防第410号をもって諮問のありました、第8次多治見市総合計画基本構想案及び基本計画案について慎重に審議した結果、概ね適正であると認めたため答申します。

なお、貴職におかれましては、下記に留意し、総合的かつ計画的な行財政運営を着実に推進されることを期待します。

記

【全体】

- 1 市民目線で、市民にわかりやすい計画となるよう努めていただきたい。
- 2 総合計画に掲げた内容は市民との約束の証。今、多治見市がどのポジションにいて、どこまでレベルアップしていくかを市民に発信しながら、強い危機感を持ち、実現に向けて努力していただきたい。
- 3 市民意識調査結果や、施策ごとの現状及び課題の説明をグラフ等用いて掲載することに加え、その課題を解決するためにKPI（重要成果指標）を定めて該当する事業を実行する、といった関係性が分かるようにした方が、市民にわかりやすく、丁寧である。
- 4 「選ばれるまち」になるためには、多治見市のプロモーションが戦略的に行われる必要があることから、マーケティング等の経営的手法を取り入れることが肝要である。
- 5 第8次総合計画のテーマを「選ばれるまちに向けて」等と定めて、総合計画全体がそのための政策パッケージであるように見せることができれば、市民に対してより力強いメッセージになると考えられる。

【基本構想】

- 1 持続可能なまちであり続けるため、定住人口・労働人口・交流人口の増加に取り組み、経営的視点を取り入れた行政運営を進めていただきたい。
- 2 人口ビジョンに掲げた目標の実現に向けて、自然動態、社会動態の改善を図る人口減少対策に、腹を括って取り組んでいただきたい。
- 3 自治体DXについては、技術力がありプランニングができる人材の確保・育成とともに、事業担当課と情報化担当部署との連携により推進していただきたい。

【基本計画】

〔全般〕

- 1 第7次総合計画（後期計画）における複数の事業を統合したことにより、事業名や事業内容が抽象的でわかりにくくなったものも見受けられる。後退している印象を持たれないよう留意するとともに、市民に理解してもらえよう努めていただきたい。
- 2 性別に関わらず、職業生活と家庭生活、地域活動等、暮らしのあらゆる場への参画ができるよう、男女共同参画社会の形成を推進していただきたい。

〔政策の柱1〕子育て世代が選び、住み続けたいまちづくり

（1）全般

- ア 子育て世代にとっては、子どもが生まれてから育っていくまでの施策が、そのまちを選び、今後も住み続けようと思うかどうかのポイントとなる。教育の良さでまちを選ぶという保護者も多いと感じており、市として特色のある教育を推進していただきたい。
- イ インパクトのある施策を打ち出して、他自治体との差別化を図っていくことが求められる。給食費・18歳までの医療費・第2子以降の保育料無償化、送迎保育ステーション事業など、積極的に新事業を打ち出しているが、それをどのようにアピールしていくかも考えていただきたい。

（2）子育て家庭の孤立の予防

保育園や幼稚園に通園しているか否かに関係無く、子育て家庭が地域の中で孤立しないよう、相談支援体制をより一層強化していただくことを期待したい。

（3）部活動の地域移行化

部活動の地域移行化について、指導者の確保など現場は非常に厳しい状況である。既存のジュニアクラブだけでなく、早急に他の方策にも取り組んでいただきたい。

（4）保育士・幼稚園教諭の確保

保育士・幼稚園教諭の処遇改善に取り組み、十分に確保していただくことを期待したい。

〔政策の柱2〕にぎわいを生み出すまちづくり

（1）地場産業の支援

地場産業は、第7次総合計画策定時と比較すると、原料の枯渇問題だけでなく、コロナ禍による生産調整や高齢化により、製造分野から順に廃業が進んでいる。市内産業の人手不足という課題に向き合った施策にも、さらに力を入れていただきたい。

（2）にぎわい創出

プラティ多治見を含む多治見駅周辺エリア全体で、にぎわい創出を継続的に進めていただきたい。

〔政策の柱3〕元気で安心して暮らせるまちづくり

（1）障がい者支援

障がい者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、重度の障がいを持つ方も利用できるグループホームやショートステイの充実に努めていただきたい。

（2）重層的支援体制の整備

重層的支援体制の整備・運用にあたっては、対応に遅れが生じないように、市役所内の横の連携とともに、関係機関との連携強化を進めていただきたい。また、「重層的支援」という表現は不明瞭なので、もっと市民にわかりやすい表現を心がけていただきたい。

（3）消防団の加入促進

消防団員の加入促進に向けて、積極的に負担軽減や処遇改善に取り組んでいただきたい。

〔政策の柱4〕多様なつながりで、豊かな暮らしを育むまちづくり

（1）まちづくり活動への支援

地域の活力を高めるため、区と地域力組織の協働で地域力活動の拡大が進んでいる。引き続き市民によるまちづくり活動への支援に注力していただきたい。

（2）公民館活動と地域力活動の向上

公民館活動は地域に非常に根差しているため、その活動とともに地域力組織の活動を向上させるという視点も重視していただきたい。

〔政策の柱5〕持続可能で快適に暮らせるまちづくり

（1）緑化推進

森林や里山は二酸化炭素の吸収源であり、夏の暑さ対策にも寄与するため、引き続き緑化推進に取り組んでいただきたい。

（2）地籍調査の推進

地籍調査を通じて土地の境界を確定することは、土地活用の円滑化にもつながるため、積極的に推進していただきたい。

（3）河川空間の活用

国と連携して進めている土岐川のかわまちづくり事業など、今後も河川空間を活かした地域づくりを進めていただきたい。

〔基盤〕行財政改革の推進

（1）ふるさと納税の推進

企業版・個人版ふるさと納税については、多くの寄附額を集めている自治体もある。多治見市もよりマーケティング的視点を持ちながら、財源確保策としてさらに創意工夫を凝らしていただきたい。

（2）デジタル化の推進

デジタル田園都市国家構想交付金を有効に活用し、デジタル化を推進していただきたい。

以上